市民参加実施状況報告書②

案 件 名	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想	実施所管	都市計画部 土地利用計画課
概 要	北野下水処理場、清掃工場等の公共施設再編に伴う創出用地活用に係る基本的な考え方を示す	策定期間	令和3年(2021年)4月～令和5年(2023年)6月

1. 実施した市民参加の方法　令和3年度(2021年度)と令和4年度(2022年度)に実施したもの及び、令和5年度(2023年度)に実施予定のもの【3か年分】

(1)手法	(2)実施名称	(3)実施目的(期待する効果)	(4)期間・日時・会場	(5)周知方法	(6)参加者数等	(7)実施にあたって工夫した点
パブリックコメント手続	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想(素案)について	跡地活用に係る基本的な考え方を示す基本構想について、市民意見を聴取するため。	令和5年(2023年)3月15日～4月14日	広報、市HP、市施設への配架	22名(35件の意見)	簡潔で明快な資料提供に努めた。
公聴会、説明会	北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想(素案)説明会	基本構想(素案)の理解を促進するため。	令和5年(2023年)3月26日　クリエイトホール	広報、市HP	5名	簡潔で明快な説明を心掛けるとともに、事務局から質問を投げかけるなど対話をしやすい場づくりに努めた。
その他	北野清掃施設・下水施設関係町会連絡協議会	跡地活用に係る地元町会との円滑な合意形成	令和3年度7月、11月 令和4年度7月、3月 令和5年度6月 場所　北野清掃工場外	定例的に実施される本協議会の場を借りて報告	15名	町会からも本プロジェクトを応援してもらえるよう丁寧な説明プロセスを心掛けた
その他	まちづくりワークショップ	令和5年(2023年)6月に策定した基本構想をもとに、具体的な活用方法について議論を深めるため。	シンポジウム令和5年(2023年)6月28日 令和5年(2023年)7月22日～9月30日(全3回)　衛生処理センター等 ワークショップ成果の周知@ファーマート　令和5年(2023年)11月12日	広報、市HP、SNS	シンポジウム　21名(オンライン参加含まず) ワークショップ　30名 ファーマート　235名(アンケート回答者)	国土交通省が進める「Project PLATEAU(3次元都市モデル整備事業)」のユースケース開発の一環で、XR技術を用いたワークショップを企画し、直感的な分かりやすさや楽しさを得られ、活発な議論が展開されるよう配慮した。 協力者｜㈱ホロラボ、東京都立大学(饗庭研究室)

2. 市民参加実施スケジュール

スケジュール	年度	令和3年度(2021年度)												令和4年度(2022年度)予定												令和5年度(2023年度)予定											
	年	令和3年(2021年)												令和4年(2022年)												令和5年(2023年)											令和6年
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
策定期間		----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--->									
パブリックコメント手続																									<---->											
関係町会連絡協議会					●				●								●								●			●									
ワークショップ																												●	●	●	●		●				

3. 市民参加の方法の組合せやスケジュールについて工夫した点

まずは、市としての大まかな方針を固めたのち、それを具体化するための取組について市民意見を聞くという形をとった。
あらかじめ市が意思表示しつつ、実現化手法が固まっていないタイミングで市民意見を聞くことで、ある程度具体的な内容をイメージして建設的な意見交換を実施するよう配慮した。

4. 市民参加の実施についての課題

市民参加が楽しいものであり、また市民参加によって自分のまちが良くなるなど、成果を実感できるような仕組みを整えることが課題。

本プロジェクトの市民認知度は不十分であると認識しており、より多くの方にリーチできるよう、普段からまちづくりについて魅力的な情報提供に努めるとともに、キーパーソンとのコミュニケーションづくりが課題。